学校だより第８号

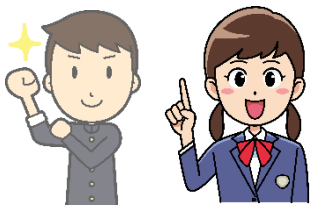
稲浜通信

千葉市立稲浜中学校
千葉市美浜区稲毛海岸２－３－３
TEL　０４３－２４７－８５００
令和３年１０月２２日発行

令和３年度後期の始まりにあたって

校長　川﨑　康範

令和３年度の後期が始まりました。その初日、始業式の後に行われた生徒会引継ぎ式では、今まで学校の中心となって活動してくれていた前期本部役員、専門委員長、部長会代表に感謝状が渡され、その後に新役員に任命書が渡され引継ぎが完了して２年生中心へと無事に移行しました。新生徒会長が稲浜中学校のこれからあるべき姿を全校生徒に向けて堂々と語っていた様子を見て大変頼もしく思いました。9 月に行われた生徒会役員選挙演説が終了後に廊下を歩きながら前生徒会長に「コロナのために、やりたかったことが出来ない１年間だったね。」と話し掛けた時に「いいえ、この後は後輩たちがしっかりやってくれます。」と即座に答えが返ってきたことを思い出し、本当に良い生徒達に恵まれているとつくづく感じました。他の生徒達も代表生徒に任せるだけでなく、稲浜中生徒会の一員として全員が委員会活動に部活動、そして学習に自分の意見や考えを反映させながら更に良い稲浜中学校を創り上げることに取り組んで欲しいと思います。



なお、１０月まで暑さ対策を考えて体操服・ジャージ登校を許可してきましたが、１１月からは制服での登校となります。衣替えの期間は定めていませんので各自が気候に合った制服で登下校するように心掛けてください。また、本年度より冬季の女子の制服が寒い（特にスカート）との生徒・保護者の方からの相談を受けて女子のスラックスの着用ができるように対応いたしました。

「 稲浜中学校をより良くするために 」

生徒会長　２年　Y.U

私はこの一年間で取り組んでいきたいと思っていることが二つあります。

一つ目は、オアシス運動の実施です。稲浜中学校の課題である挨拶を改善する為に、日頃から「おはようございます。」、「ありがとうございます。」、「失礼します。」、「すみません。」を心掛けるようにしましょう。二つ目は、生徒全員の意見を出し合い、コロナ禍でも楽しめる企画を考えることです。私はこの二点を中心にして活動していきたいです。

今まで先輩方が築いてきた伝統を引き継ぎ、さらにより良い稲浜中学校になるよう、全力を尽くして頑張っていきます。一年間よろしくお願い致します。

さあ、校外学習・修学旅行へ

１１月５日（金）から２泊３日で３年生が信州への修学旅行に出発します。この学年は、２年生の時に自然教室の中止、自然教室の代替の鎌倉の校外学習までが中止となりました。当初の計画と少し内容が変わりましたが、楽しみにしている信州への修学旅行が間近に迫ってきました。また、３年生と同じく１１月５日（金）には２年生が鴨川方面へ、

１１月１１日（木）には１年生が鎌倉方面への校外学習に行くこととなりました。現在はそのための事前学習や話し合いが行われています。学校生活に楽しみが加わったためか、以前よりも生徒の皆さんを校門で迎える時の挨拶に元気が出てきたように思います。しかし、それぞれが楽しい思い出を作るためだけではなく、学校行事としての目的を達成し更に成長することができるよう期待します。

10月21日、河童橋から穂高連峰の様子
五千尺ロッヂ河童橋ライブカメラより

【 重要な連絡 】

１年生の来年度の学級編成について

５月の保護者会役員会の時に１年生保護者会役員の方にはお伝えしていますが、現在の１学年４学級編成が２年生になるときに３学級編成になる予定です。

学級数は、千葉市教育委員会より各学年の生徒数に応じて決められています。現在４学級編成で進めていますが、稲浜中学校の新入生は１１１人だったため（途中転入１名現在１１２名）本来ならば初めから３学級編成としなければなりませんでした。そこを、新型コロナウイルス感染防止対策と教職員の関係等を考慮しながら、新入生は小学生から中学生になるときにはきめ細かく手厚い指導が求められるということを考えて、特別に４学級編成を許可してもらっています。基準に満たない人数でこの１年間４学級で進められたことは、生徒にとっても保護者の方にとっても非常に大きな安心感を持っていただくことができたのではないかと考えています。

なお、２年時になるときの学級編成についても学年職員を中心に生徒達が安心できる学級編成を行いたいと考えていますが、生徒・保護者個人からの要望については受けることはできません。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

FIFA ワールドカップカタール 2022　アジア最終予選を観戦して

先日、埼玉スタジアム２００２で行われた、サッカーW 杯カタール大会アジア最終予選の日本代表対オーストラリア戦を観戦に行ってきました。埼玉県内初めてとなる新型コロナウイルスワクチン接種証明などを使った観客制限緩和の検証として行われました試合です。今回の技術実証では、上限の観客 1 万人に加えて 2 回目のワクチンを接種してから 2 週間が経過している人と、試合の日からさかのぼって 72 時間以内に PCR 検査をうけ陰性が証明された 5000 人分の専用の席が用意されました。また、マスクの着用率を調べるためのカメラが設置され、会場付近ではレーダーを使って試合後の自宅への直帰率も調査したようです。私は、ワクチン接種 2 回目の座席を購入し、観戦をしました。競技場入場の過程では、接種証明書と身分証明書の確認と手の消毒、検温が外のゲートでありました。そこで確認されるとピンクの腕輪を付けられます。次に競技場に入場前にあるゲートでピンクの腕輪を確認し荷物検査をし、競技場入口で再び検温をしました。座席も両隣は空いているので私からすると徹底されたコロナの感染対策が行われているので安心して観戦することができました。また、帰りの公共交通機関も満員すし詰め状態が避けられて余裕がありました。

ワクチン接種証明の腕輪

試合も日本代表が勝利し、カタール W 杯出場の可能性が消滅しなかったのでほっとしました。競技場で、目の前で繰り広げられている真剣勝負を観戦できるのは格別な気持ちでした。